



発信年月日：令和3年(2021年)5月26日
 所属名：大津・南部農産普及課
 番号：A21001
 部門分類：150(野菜)
 発信者名：小林

共同販売に向けたイチゴの市場出荷が実現！

管内イチゴの販売面の課題解決策の1つとして、令和2年7月から、共同販売に向けた支援を行ってきました。その結果、令和3年2月から5月6日までに、5戸の生産者が約2,900パックを大津市公設地方卸売市場へ出荷されました。

当管内では、過去5年間で9戸が新規に栽培を開始され、今年度も1戸の就農が予定されています。企業参入もあり、地域によっては直売所での販売が飽和状態にあり、競争による価格崩壊が懸念されています(表1)。また、単身もしくは夫婦での営農が多く、庭先販売での接客と管理作業の競合が生じているほか、直売所等への配送や売れ残りの回収に負担を感じておられます。

そこで、当課は令和2年7月から、生産者の組織化と卸売市場への共同販売の実現に向けた普及活動を開始しました(表2)。課内での打ち合わせや関係機関との連携、生産者に向けた働きかけなどの結果、令和3年2月17日から卸売市場へ出荷が開始されました。当初は3戸での取組でしたが、この活動に関心を示された2戸が仲間に加わり、4月には5戸で日量約40パックの継続的な出荷が実現できました。

しかし、今作は生産者ごとに異なるJAを通じた試験的な販売であったため、品質の統一や出荷量の遵守に対する認識の甘さなど、課題も多くみられました。

今年度は、この5戸の生産者からなるグループへの支援を普及計画に位置付け、規約の策定や実需者の意見を踏まえた出荷規格の決定など、安定的・計画的な共同販売の実現に向けた普及活動を行う予定です。

表1 管内の生産者数(戸)と生産面積(m²)

	令和2年	令和3年
生産者数	28	32
(うち企業参入)	(2)	(2)
生産面積	43,797	55,963
(うち企業参入)	(5,450)	(10,040)



図2 大津市内のスーパーで販売される管内産イチゴ(令和3年2月26日撮影)

表2 イチゴ組織化共同販売の実現に向けた普及活動の経緯

令和2年7月	<ul style="list-style-type: none"> 管内のイチゴ栽培状況を説明するためのイチゴマップ※を作成 野菜担当打合せにて、組織化に向けた動きについての情報共有および、その支援方法について議論
令和2年8月	<ul style="list-style-type: none"> 野菜担当内で、組織化の範囲・目的について議論 11月に第一回栽培研修会と意見交換会を開催することを決定
令和2年9月	<ul style="list-style-type: none"> 野菜担当内で、本件の主担当・副担当を決定 研修会の内容を決定 全イチゴ生産者の意向調査を実施することが決定 各市の連携会議にて、状況の説明および研修会への出席依頼
令和2年10月	<ul style="list-style-type: none"> 実需者と意見交換 意向調査で興味を示した生産者4戸に対して説明会を開催 野菜担当内で、栽培研修会に向けた打ち合わせ
令和2年11月	<ul style="list-style-type: none"> 市場を訪問し、取り組み内容について説明 第一回栽培研修会・意見交換会の開催 意見交換会で、販売面の課題について議論された
令和2年12月	<ul style="list-style-type: none"> 共同販売に参加される3戸に対して、具体的な出荷方法検討会を開催 共同販売に参加される3戸と市場の顔合わせを実施 野菜担当内で、2月に第二回研修会を開催することを決定
令和3年2月	<ul style="list-style-type: none"> 出荷前打ち合わせ 第二回研修会開催 試験販売開始 販売店舗(大津市Mスーパー)売り場担当者に聞き取り

※イチゴマップ: 生産ほ場を中心に、生産面積に応じた大きさの円を地図上にプロットしたもの

当課内の打ち合わせ等
 関係機関連携
 生産者への働きかけ